【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年12月10日(2024.12.10)

【国際公開番号】WO2023/189979
【出願番号】特願2024-512238(P2024-512238)
【国際特許分類】
H01L 21/683(2006.01)
H01L 21/3065(2006.01)
C23C 14/50(2006.01)
C23C 16/458(2006.01)
【FI】
H01L 21/68 N
H01L 21/68 R
H01L 21/302101G
C23C 14/50 A
C23C 16/458

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月19日(2024.9.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
セラミック板と、
耐熱部材と、
ベース部材と、を備え
前記セラミック板から前記耐熱部材、前記ベース部材の順に位置し、
前記耐熱部材は、前記セラミック板よりも熱膨張率が小さく、前記セラミック板に対して接合されていない、試料保持具。
【請求項２】
前記セラミック板を固定する固定部材をさらに備える、請求項１に記載の試料保持具。
【請求項３】
前記耐熱部材と前記ベース部材との間に位置する接合材をさらに備える、請求項１又は２に記載の試料保持具。
【請求項４】
前記耐熱部材は、前記セラミック板と接触する複数の第１凸部及び前記第１凸部の周囲に位置する第１空間を有する、請求項１に記載の試料保持具。
【請求項５】
前記第１凸部における側面は、前記セラミック板に向かって幅が狭くなるテーパ状である、請求項４に記載の試料保持具。
【請求項６】
前記第１凸部の前記セラミック板と接触する端面の表面粗さは、前記第１空間の底面の表面粗さよりも小さい、請求項４又は５に記載の試料保持具。
【請求項７】
前記第１空間には、伝熱ガスが導入される、請求項４に記載の試料保持具。
【請求項８】

前記第１凸部における前記側面は、突起及び溝の少なくとも一方を有する、請求項５に記載の試料保持具。

【請求項９】

前記突起及び前記溝の少なくとも一方は、前記第１凸部の前記セラミック板と接触する端面から前記第１空間の底面へ向かう方向に延在する、請求項８に記載の試料保持具。

【請求項１０】

前記セラミック板は、前記耐熱部材と接触する複数の第２凸部及び前記第２凸部の周囲に位置する第２空間を有する、請求項１に記載の試料保持具。

【請求項１１】

前記第２空間には、伝熱ガスが導入される、請求項１０に記載の試料保持具。

【請求項１２】

前記耐熱部材と前記セラミック板との間に第１中間層を有し、

該第１中間層は、前記耐熱部材よりも摩擦係数が小さい、請求項１に記載の試料保持具。

【請求項１３】

前記耐熱部材と前記セラミック板との間に第２中間層を有し、

該第２中間層は、前記耐熱部材よりも硬度が高い、請求項１に記載の試料保持具。

【請求項１４】

前記耐熱部材と前記セラミック板との間に第３中間層を有し、

該第３中間層は、前記セラミック板よりも電気抵抗が小さい、請求項１に記載の試料保持具。

【請求項１５】

前記セラミック板は、内部に静電吸着用電極を有し、

前記耐熱部材は、前記静電吸着用電極により前記セラミック板に吸着される、請求項１に記載の試料保持具。